



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

此のところパリのテロ事件やトルコによるロシア軍機撃墜事件など中東が絡んだ紛争で、いわゆる地政学的リスクの高まりが直しい世界情勢ですが、金融市場はこうした事象に大きく反応せず、日米欧先進国の株式市場はおしなべて、秋口より切り下がった水準からの自律回復基調を示す11月だったと思います。

米国経済の底堅さを示す雇用統計や消費関連指標を抛り所とした年内の米国金利引き上げ開始を、市場はかなりの程度織り込んだと考えられ、実際の利上げ後は不確定要因がなくなったという前提で、金融市場はより落ち着いたのではないかと想定しています。

実際のところ、世界の实体经济は先進国においてはいずれも上向きです。米国は来年に向け景気サイクルのピークに向けて安定した成長軌道を維持する一方で、日本と欧州は共に量的金融緩和と政策の途上にあつて、更なる緩和へと政策の舵を強めると見込まれ、当面の株式市場には追い風となるはずで

そして高値から半値未満になって久しい、原油をはじめとした資源価格の低位安定がしばらく続くであろうという世界の経済構造の前提大変化は、先進国経済の回復基調に常に足かせだった資源国への富の移転から、その逆流というカタチで、日米欧各国の経済成長を相当な規模で下支えする源泉として、徐々に顕在化して来るものと考えます。

世界全体では、資源安の長期化は、資源に依拠していた新興国にはより一層厳しい環境ですが、トータルではグローバリゼーションの成長軌道を支え、先進国経済の景気を押し上げる、「セゾン号」のポートフォリオにとっても心地良いコンディションを提供してくれるはずで、地球経済の成長軌道に乗って、穏やかに粛々と進んでおります。

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 11月の市場動向

**株式：**【米国で年内の利上げ観測が高まったものの、金融緩和環境が長期間維持されるとの見方を背景に底堅い動き】

景気に力強さは無く、先行きへの不透明感が高まるなかで、米国で年内の利上げ観測が強まったものの、米国の利上げペースは緩やかなものになるとの見方が広がったほか、ユーロ圏で金融緩和の拡大観測が一段と高まったことから、概ね底堅い展開となりました。

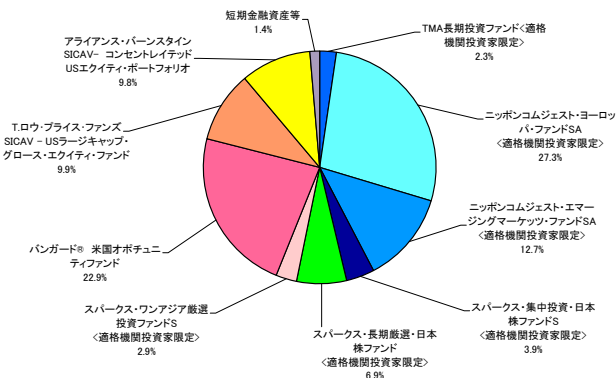
**為替：**【年内の利上げ観測が高まったことを受けてドルが上昇し、金融緩和観測が高まっているユーロが引き続き下落】

年内に米国で最初の利上げが行われるとの見方が強まったことを受けてドルが上昇し、ユーロは金融緩和観測の高まりを背景に下落しました。円は追加緩和への期待がやや後退したことで堅調な展開となり、対ドルでは円安、対ユーロでは円高となりました。

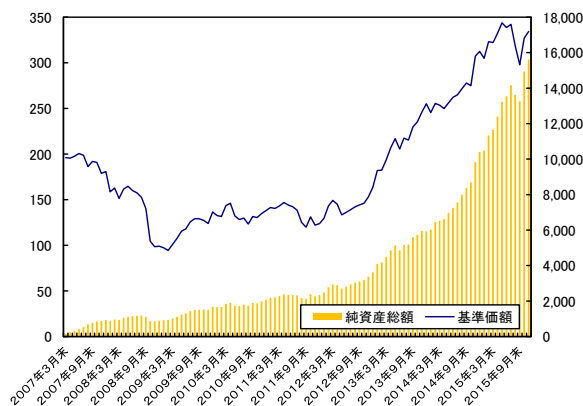
基準価額と純資産総額及び騰落率（2015年11月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
17,191円	303.5億円	+71.91%	+2.18%	-2.77%	+8.80%

資産配分状況(2015年11月30日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 11月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでの購入やスポット購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月とほぼ変わらず、月末時点で1.4%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

インデックス投資は、専門家であっても勝ち続けることが困難とされる金融市場において、勝つことではなく負けたくないことを目的とする運用手法ですが、資産形成の達人ファンドが投資しているアクティブファンドも市場に勝つことを直接的な目的とするのではなく、綿密な調査により投資対象の長期的な価値を見極め、現在の価格が割安と考えられる銘柄に投資することにおいて専門性を発揮し、結果として長期的に高いリターンを獲得することを目指しています。

金融市場では、参加者の関心を集める事柄が次々に生まれては消え、時には変動が大きくなる局面もありますが、このような運用方針を採用することで、長期的には運用成績が運や偶然に左右される割合を低下させることが出来るものと考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）